

南仏治安情報 (2013年01月)

■プロヴァンス地方

1. 未成年による空き巣の多発

マルセイユ市を中心とした地域 (Aubagne, Cassis, La ciotatを含む) の空き巣被害は年間1万1千件にもものぼり、1日平均30件以上の被害が報告されています。最近では未成年者を含む若年層の犯行が目立っており、貴金属、TV、ゲーム機等の金目のものを盗んだ後すぐに転売することで証拠を残りにくくしているため、空き巣の検挙率は被害件数の10%にも達していません。

2. マルセイユ市における暴力を伴った事件の増加

検察庁の報告によると、昨年マルセイユ市で発生した暴力を伴った事件の発生件数は過去5年で最多になりました。また、ブーシュ・デュ・ローヌ県での強盗及びひったくりの発生件数は2011年に比べ6.3%増加し、マルセイユ市、Aubagne市だけでも1万760件報告されました。マルセイユ市及び近郊地域における貧困層の若者に対する慢性的な雇用不足、職業訓練などサポートの不足が問題の原因と考えられています。

3. 大晦日の夜の放火被害

12月31日夜18時から翌朝6時までの間マルセイユ市で62件の放火が確認されました。被害の内訳は自動車が42件、二輪車が8件、ゴミ箱が12件となっており、自動車は前年の22件に比べ約2倍になりました。毎年、年越しの夜にはフランス国内で1000台以上の自動車が燃やされており、今年は1193台が被害に遭い事態は深刻な状況となっています。

4. 医師に対する暴力事件

暴力事件が増加の一途をたどるマルセイユ市では、医師までがその対象になっています。例えば、医師が診察時間の遅れを患者に伝えたところ、患者の息子が親がないがしろにされると激怒し、医師が頭突きをされる事件が発生しました。他にも診察中に怒鳴られたり、往診中の医師がカージャッキングに襲われるなど、2012年中に医師に対する暴力事件は報告されているものだけでも36件にのぼり、過去2年で被害件数は3倍にもなっています。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. フランス国内におけるテロ対策の強化

フランスは1月より西アフリカのマリに軍事介入を行い、イスラム過激派に対する攻勢を強めていますが、国内では報復テロを恐れ警戒態勢を強めており、ニース空港のように各国から出入りのある施設、また、マリ人が大勢集まりテロに関する情報交換が行われる恐れのある教育機関、イスラム教施設、商店などでのパトロールを強化しています。

2. 連続ひったくり犯行グループの検挙

ニース市の St-Charles ترامウェイ駅やLouis-Braille通り周辺で、昨年9月頃から相次いで高齢の女性を狙ってひったくりを行っていた犯人グループが逮捕されました。未成年者2人を含む5人のグループによる犯行は22件にも及び、被害者の女性たちは突き飛ばされたり、引きずられるなどの暴行を受けた上貴金属を奪われており、中には入院に至る大怪我を負った事件もありました。

3. ソーシャルネットワークを介したトラブルの増加

インターネット上のコミュニケーションによりトラブルに遭う未成年が増加している事態を受け、フランス憲兵隊は子供のソーシャルネットワークの使い方について保護者に注意を促しています。これまでに、恋人に頼まれウェブカメラで胸部を露出した写真を撮った少女が写真を元に脅され更なる行為を要求されたり、教師に対する誹謗中傷をFacebookに書き込んだ生徒の保護者に罰金が課せられた例があります。

4. コルシカ島での爆破事件

1月15日午前6時40分頃、コルシカ島南部Valincoのフランス郵政公社(La Poste)の休暇施設がテロの標的となりました。バンガロー3棟が爆破されましたが犠牲者はありませんでした。なお、この爆破に対する犯行声明は出されていません。

■ミディ・ピレネー地方

1. 2012年エロー県犯罪統計

エロー県の発表によると、2012年の犯罪発生件数は7万3718件で対前年比1.7%の減少となりました。長い間増加傾向にあり同県の課題であった空き巣についても前年の6258件より195件(前年比-3.1%)の減少となりました。その他、自動車盗の発生件数が2713件(前年比-17%)、バイク盗が1669件(同-6.8%)、車上荒らしが8512件(同-12.3%)となっています。一方で、暴力を伴う盗難は2728件の発生で18%の増加、また、強姦・強制わいせつは421件で21%の増加、暴力を伴う事件は9352件で13.2%の増加になっています。

2. 中学生への恐喝事件

トゥールーズ市 Marengo地区の図書館周辺で、昨年12月半ば頃から中学生への恐喝が相次いで発生していましたが、1月17日、該当地区をパトロールしていた警察官により犯人の13才と14才の少年が捕まりました。また22日にも15才と16才の未成年者を含む3人が捕まっています。少年たちはいずれもルーマニア出身で警察では親から命令を受けて犯行に及んだ可能性があるともみ捜査しています。

3. 増加するサイバー犯罪

インターネット上で海外のクレジットカードの暗証番号を入手後、ゲーム機や酒類等を購入し Le Boncoinの様な広告掲載できるウェブサイトを通じて転売を繰り返していた女が逮捕されました。サイバー犯罪に対し警察は終日体制で監視していますが、2012年にはトゥールーズ市だけで同犯罪が2220件告訴されました。しかし、同件数中解決されたものは10件しかなく捜査が困難であることが伺えます。

4. 女性への襲撃事件の発生

1月24日夕方、ニーム市 Courbessac地区でジョギングに出かけたまま行方不明になっていた33才の女性が Chemin des Sangliers で遺体で発見されました。遺体の周辺には凶器とみられる石やカッターの刃などが見つかったため、警察は何者かに殺害されたとみ捜査しています。